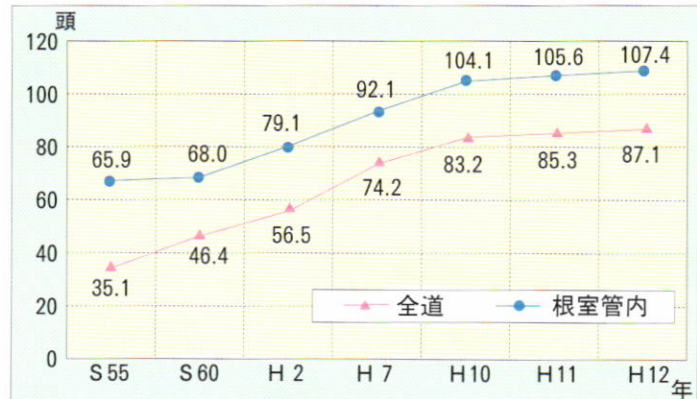


## 酪農経営での課題

### 急激な飼養頭数の増加

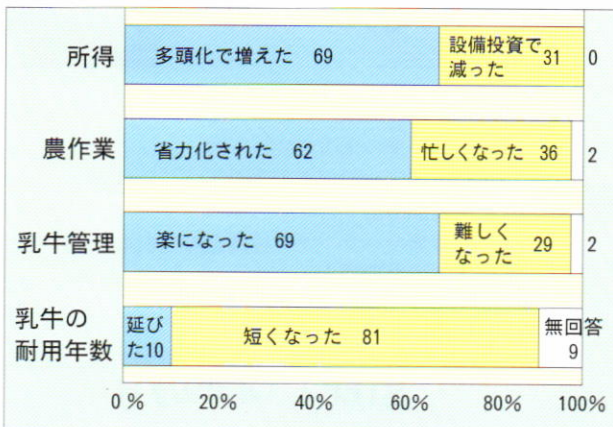
根室管内の酪農は、恵まれた土地資源を活用して、生産性、収益性を求め規模拡大が進められてきました。

しかし、急激な投資に自己資金の蓄積が追いつかず、負債の増加で経営を悪化させたり、多頭化で労働が過重になっている事例もみられます。



飼育頭数の推移 (戸当り)

根室の農業 (2001)



道内のフリーストール・パーラー導入農家42戸・重複回答 (H10農業構造動態調査)

### フリーストール・パーラー

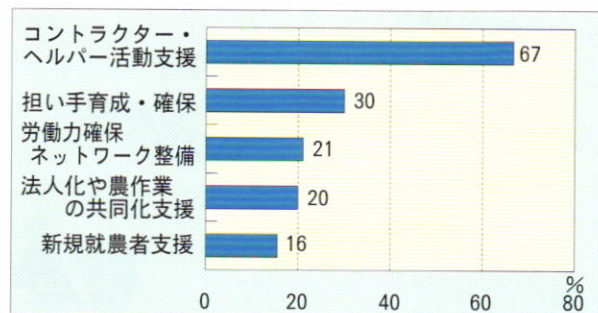
#### 導入後の経営状況

経営改善を目指して、フリーストール・パーラーを導入した農家の経営状況で「所得が増えた」「農作業が省力化された」「乳牛管理が楽になった」が約7割いる反面「設備投資で所得が減った」「農作業が忙しくなった」「乳牛管理が難しくなった」事例も多い。また、「乳牛の耐用年数が短くなった」との回答が8割と多く、技術の導入には、綿密な計画が必要です。

### 労働力不足に対して必要とする対策

労働力・担い手確保の対策として「コントラクター・ヘルパー」が最も多く、次いで「労働力確保のネットワーク整備」「法人化や農作業の共同化支援」を必要と感じています。

いずれも、地域あるいは市町を越えた広域的な対策を求めています。



道内の専業酪農家419戸・重複回答 (H10農業構造動態調査)

### うるおいある酪農経営のために

酪農経営の生産過程には、数多くの技術が複雑に関連します。また、酪農経営は、様々な考え方や形態があり、条件も多様です。「うるおい」のある酪農経営のために、我が家にあった経営を確立することが必要です。本資料では、ヒントになる事例を紹介します。

# ともに支え・築く農家経営～家族間のルールづくり～

魅力的な酪農経営を築くためには家族共通の目標をもつ事と個人を認め合う事が大切です。「家族だから言わなくてもわかる」から「家族だから守るべきルールがある」と発想の転換を行う必要があります。

## 家族間のルールづくりの手順

